

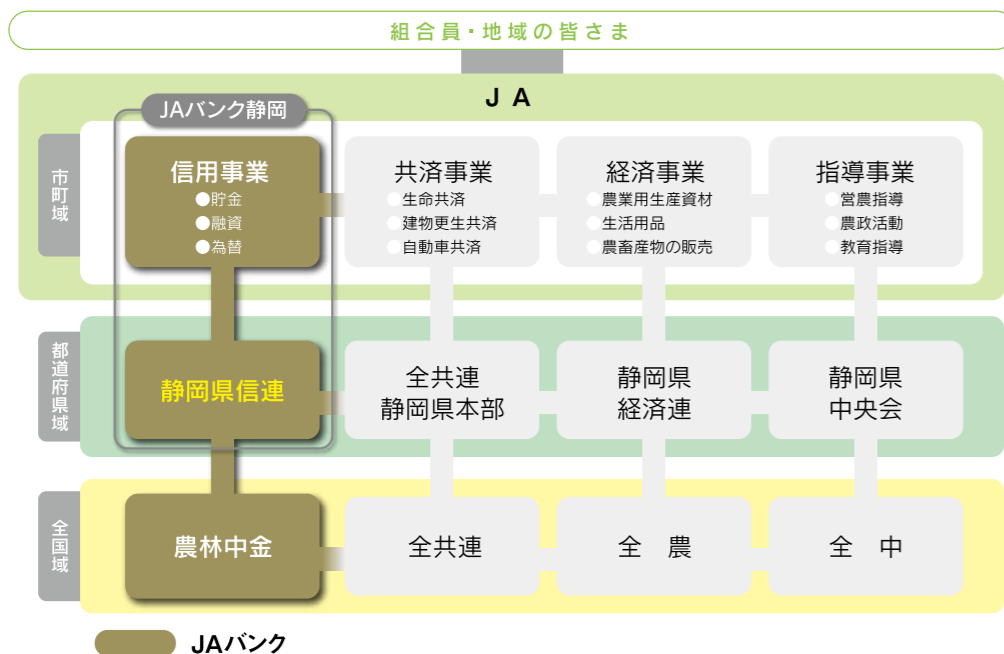
JAバンク静岡とは

JAグループの枠組み

「JA」は農業協同組合の愛称で、信用事業、共済事業、経済事業、指導事業等様々な事業を行っています。このうち信用事業は総称して「JAバンク」と呼ばれており、各地域のJAと各都道府県域において信用事業の本部機能を担う信用農業協同組合連合会（信連）、全国域の本部機能を担う農林中金とで「JAバンク」グループを形成しています。当会は、信用事業を行う都道府県段階の連合会組織と

して静岡県下JAの事業運営をサポートするとともに、県域を営業エリアとする地域金融機関として皆さまのお役に立つ金融サービスを提供しています。当会はJAグループの一員として、県下JAと一体となってJAの組合員及び地域の皆さまから信頼される事業運営に努め、地域の農業及び経済の発展に貢献してまいります。

JAグループ組織図



JAバンク静岡のネットワーク



組合名		
1 JA伊豆太陽	7 JA富士市	13 JA掛川市
2 JA三島函南	8 JA富士宮	14 JA遠州夢咲
3 JA伊豆の国	9 JAしみず	15 JA遠州中央
4 JAあいら伊豆	10 JA静岡市	16 JAとびあ浜松
5 JAなんすん	11 JA大井川	17 JAみっかび
6 JA御殿場	12 JAハイナン	

※ 各JAの詳細について <https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/tenpo/>

JAバンクシステム

JAバンクシステム

便利と安心の「JAバンクシステム」です。

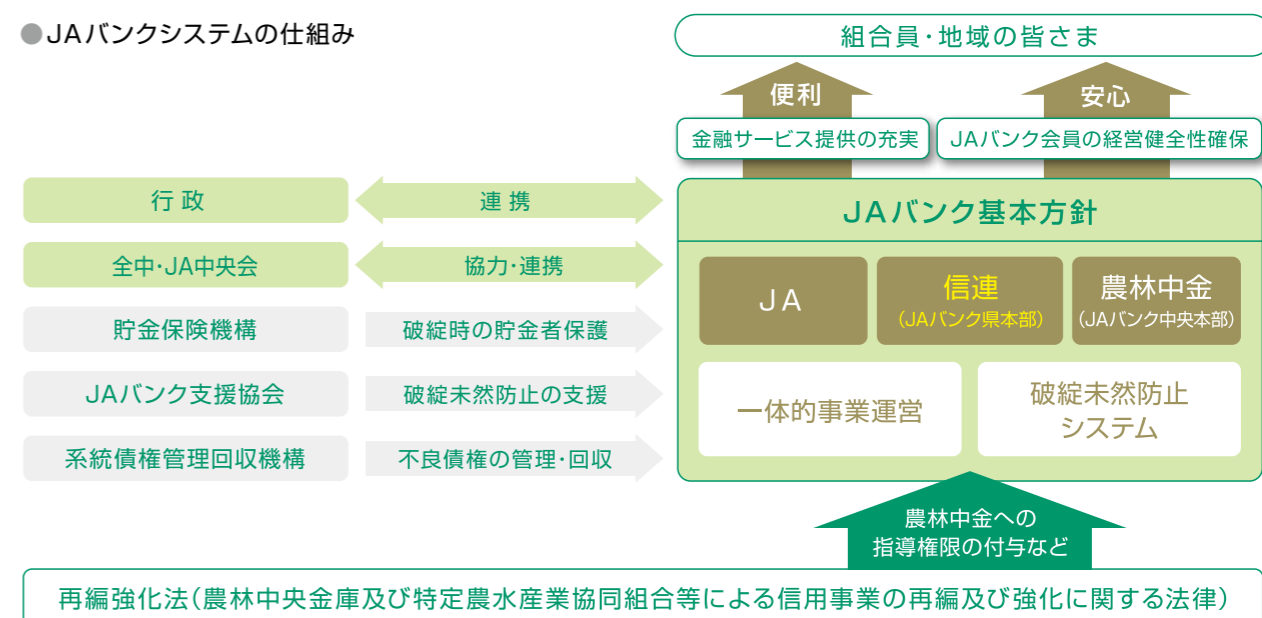
「JAバンクシステム」とは、再編強化法に則り、JAバンク会員総意のもと策定された「JAバンク基本方針」に基づき、JA・信連・農林中金が実質的に一つの金融機関（JAバンク）として機能し、一体的に事業運営に取り組むシステムです。

金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業運営」と、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」

の2つの柱で、組合員・地域の皆さまに、より一層の「便利」と「安心」をご提供します。

JAバンクは豊富な資金量とワイドなネットワークを活かして総合金融サービスを提供し、組合員・地域の皆さまに貢献しています。

● JAバンクシステムの仕組み



JAバンク・セーフティネット

“安心”だから「JAバンク」が選ばれます。

より安全な金融機関としての信頼を得るために、JAバンクでは「JAバンク・セーフティネット」を構築しています。第一は公的制度である「貯金保険制度」。そして第二は「JAバンクシステム」のもと、JAバンク全体で経営の健全

性を確保する仕組みである「破綻未然防止システム」。

この2つの仕組みから成り立つ「JAバンク・セーフティネット」で、組合員・地域の皆さまに、より一層の“安心”をお届けします。

● JAバンク・セーフティネットの仕組み



○平成31年3月末財源 4,312億円

○平成31年3月末財源 ・JAバンク支援基金 1,705億円 ※1
・県相互援助積立金(全国計) 1,699億円 ※2
(うち、静岡県 67億円)

※ 1. JAバンク支援基金 … 全国のJAバンク会員等が拠出した負担金により運営されている基金です。
2. 県相互援助積立金 … 県域が個別に定めた基準により拠出した財源（積立金）です。